



山口市

報道資料

令和6年9月20日

1 件名	山口市小郡文化資料館開館 30 周年記念事業ダブル企画展 くずはらてる 葛原輝—その軌跡とまなざし— 「機関車は俺たちが走らせる！」技術者たちの挑戦
2 日時	会期 : 令和6年10月5日(土)～12月22日(日) 開館時間 : 9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館日 : 月曜日(祝日の場合は翌平日)
3 場所	山口市小郡文化資料館 2階「ふるさとゆかりの美術」・「ふるさとの歴史」展示室 山口市小郡下郷 609 番地 3 (小郡郵便局の隣)
4 内容	<p>山口市小郡文化資料館は平成6年9月30日に開館し、多くのご来館者の皆様、関係者の皆様に支えられ、今秋30周年を迎えます。これに際し、「山口市小郡文化資料館開館30周年記念事業」と銘打った様々なイベントを実施します。一連の事業の目玉として、当館初となる2本の企画展を同時開催いたします。</p> <p>1 つめは、山口市小郡が生んだ日本画家・葛原輝(くずはらてる)の世界をご紹介します企画展『葛原輝—その軌跡とまなざし—』です。葛原は伊東深木に師事し、「舞妓」や植物画を中心とした多くの作品を残しました。彼女の生涯を振り返りつつ、優美な作品をご覧ください。2 つ目は、企画展『「機関車は俺たちが走らせる！」技術者たちの挑戦』です。小郡町長も務めた明治～大正時代の鉄道技師・秋本春三が今年生誕150周年を迎えるのに合わせ、鉄道工学史に焦点を当てて山口線などの鉄道敷設までの道のりをご紹介します。</p>
5 問い合わせ	山口市小郡文化資料館 TEL 083-973-7071 FAX 083-973-7091 E-Mail cm-ogori@gamma.ocn.ne.jp

関連イベント

※内容および募集の詳細はホームページをご確認ください。お問い合わせください。

山口市小郡文化資料館 開館30周年の歩み

開館時から現在に至るまでの山口市小郡文化資料館の歩みを写真や年表、資料などで振り返るパネル展です。

2024 2025
【期 間】10.5(土)～3.30(日)
【場 所】山口市小郡文化資料館 2階ロビー

おごり文化協会共催 秋のギャラリーコンサート

山口市小郡文化資料館開館30周年を記念し、おごり文化協会の全面ご協力により、ギャラリーコンサートを開催します。今回は、琴・三絃・尺八など和楽器を使って、秋の曲を中心に邦楽の世界をお届けします。

【日 時】10.14(月・祝) 13:30～15:00
【場 所】山口市小郡文化資料館 2階 ギャラリー
【募集人数】事前申込等無し
【入 場 料】無料

鉄道ギャラリーートーク

【日 時】10.20(日)、11.16(土)
13:30～14:10頃迄
【場 所】山口市小郡文化資料館
2階「ふるさと」の歴史展示室

山口市小郡文化資料館

〒754-0002
山口市小郡下郷609番13
TEL 083-973-7071



【HP】 www.shogun-museum.jp

交通のご案内

- 【JR】山形山口駅北口より徒歩15分
- 【JR】長門下郷駅より徒歩12分
- 【中国自動車道】小郡インターチェンジより【車7分】
- 【山陽自動車道】山形インターチェンジより【車20分】
- 【国道2号線】小郡(小郡バイパス)小郡インターチェンジより【車7分】
- 【バス】小郡第一病院前バス停より徒歩5分
- 【バス】バス山下山・バス停より徒歩15分

親子で鉄道員体験と撮影会

資料館裏のD51813の車両にて、国鉄時代の鉄道業務を親子で体験します。

【日 時】10.20(日)、11.16(土)
10:00～11:00

【募集対象】保護者と子ども(中学生以下)
【募集人数】制限なし、当日受付

車両所見学会

JR西日本の協力を得て、下関総合車両所 新山形支所において見学会を実施します。

【日 時】11.22(金)
【募集対象】高校生以上
【募集人数】10名(※応募者多数の場合は抽選)
【募集期間】10月29日(火)～11月4日(月・振替)

鉄道遺産バスツアー 「鉄道黎明期の構造物と廃線跡」

明治～大正期における線道・橋梁・停留所など県内の鉄道遺産を巡り、鉄道工学を学ぶバスツアーです。

【日 時】12.15(日) 9:00～16:00
【募集対象】中学生以上(※応募者多数の場合は抽選)
【募集人数】22名
【募集期間】11月26日(火)～12月5日(木)
12月2日(月)は休館



山口市小郡文化資料館開館30周年記念事業 W 企画展



秋木春三 生涯150年特別企画展

「機関車は俺たちが走らせる！」

技術者たちの挑戦

〈前期〉11月10日(日)まで
〈後期〉11月13日(水)から

2階「ふるさと」の歴史展示室



シクラメン(部分)

「葛原輝」
その軌跡とまなざし

2階「ふるさと」ゆかりの美術展示室



葛原

2024 10.5(土)→12.22(日) 山口市小郡文化資料館

【開 館 時 間】9:00～17:00(入館16:30まで) (入館料・入場料) 無料
【休 館 日】月曜日(祝日の場合は翌平日)・11月11日～12日(展示替え期間) (駐 車 場) 16台

整備(橋梁工事中(阿武隈後橋南))



「機関車は俺たちが走らせる？」

秋本春三
生誕150年特別企画展

技術者たちの挑戦

日本における蒸気機関車も、走らねばならぬ技術は、掘入り地質と水の戦いもあり、大きな難関を伴ったのである。失った命の重さを思うと、**「必ず成し遂げる」**という信念を、「俺たちができない」といふ使命感を帯けて新しい時代を切り開いていった。名もなき労働者たちの奮闘を、明治・大正・昭和前期の

鉄道土木史

第1章 黎明期

常識を覆し、壁を突破せよ!

常設展示を目指す伊藤と大塚
「富岡製鉄所」の歴史と大塚
立ち上る富岡製鉄所—歴史の軌跡とは、

第2章 確立期

逆路を断つて、勝負を挑め!

国内最初の鉄道技術、井上馨、
鉄道の本格的な開拓、
後の軌道計画とその軌跡、方とは、

第3章 発展期

あきらめるな、
限界を超えて行け!

買収をもとにした仲間を失い、
努力先に苛まれたながらも、先の見えない
軌道工事に挑む技術者たちの苦闘と葛藤とは、

第4章 開花期

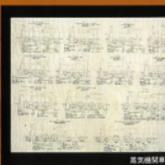
逆転の発想で、
悪条件を受け流せ!

厳しい経済状況下の中こそ、技術革新の好機。
技術の進歩こそが新たな、大胆な発想と新技術への挑戦とは、

第5章 全盛期

定石ではなく、先駆者を目指せ!

軌道下における軌道の本音と葛藤とは、
培った技術の全てを懸けて挑んだ世界初の海峽トンネルとは、



鉄道技術者「秋本春三」

秋本春三は、鉄道技術者と政治家という二つの顔を持ち、小塚を「政治家の魂」へと導いた立役者である。誰が作成した鉄道関係の図案や資料、計費書など計12点が、秋本春三の遺稿として、山口市指定有形文化財となっている。

富岡製鉄所正設

第1章

葛原輝、 その軌跡

葛原輝は秋本春三、
木村春八、山田錦徳と並び、
伊藤博文門下として、
日本人発案・設計した、
竣工の生誕、竣工の没後、
日本人発案の「日本」を、
日本人発案の「日本」を、



葛とめ

「葛原輝 — その軌跡とまなざし —」

2階「ふるさとゆかりの美術」展示室

「葛原輝(くずはら てる)は、大正4(1919)年に現在の山口市小郡で生まれた日本画家で、
舞妓や能を中心とした人物画が知られるほか、草花を題材とした優美な作品を多数発表しています。
小郡が地元だ日本画家の世界を、その生誕とともに紹介します。

第2章

生涯のテーマ「舞妓」

葛原輝の代表作として、
日本舞妓を題材としています。
彼の舞妓の人物は、
美しく、現代的で、日本人を魅了します。



風扇舞台



(左)舞妓三味子 (右)大仏はんげ

第3章

草花をいっつくしむ

葛原輝は、
花を題材として多くを生み出すが、
花を題材として多くを生み出すが、
花を題材として多くを生み出すが、

第5章

葛原輝、 そのまなざし

葛原輝は、
そのまなざし、
そのまなざし、
そのまなざし、



雪野

第4章

シベリヤへの 旅路

葛原輝は、
シベリヤへの旅路、
シベリヤへの旅路、
シベリヤへの旅路、